

事務事業コード		事務事業名				担当課		担当係名		所属長(課長等)名			担当者係長名			
22112		地区組織の育成				保健福祉課		保健係		野澤 秀秋			河手 潤子			
		一次評価年月日				平成	24	年	6	月	15	日	連絡先(内線)		2124	
事務事業実施の根拠 位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)		会計区分		予算コード	事業名(歳出予算見積書)										
			<input type="checkbox"/> 一般	<input type="checkbox"/> 特別	0430	健康増進事業										
			<input type="checkbox"/> 一般	<input type="checkbox"/> 特別		#N/A										
	第五次総合計画前期基本計画 の施策 体系における位置づけ		章		(コード選択)	2章	支え合いやすらぎのまちづくり									
			節		(コード選択)	2節	健康な暮らしを築く健康づくり・医療体制の充実									
			項〔基本施策〕		(コード選択)	1項	健康づくりの推進									
			目〔主な施策〕		(コード選択)	1目	健康管理の促進									
関連する計画等への位置づけ		<input type="checkbox"/>	第五次行財政改革大綱			<input type="checkbox"/>	3ヶ年実施計画		<input type="checkbox"/>	主要業務報告		<input type="checkbox"/>	その他			
事務期間		(開始)	23	年度 ~ (終了予定)			28	年度		<input type="checkbox"/>	開始時期不明			<input type="checkbox"/>	終期設定なし	

①対象(～に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。	
保健補導員	
②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。	
会員自らが「健康の担い手」であることを自覚し、活動を通じて地域の健康づくりに寄与する	
③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。	
1	保健補導員自ら研修会、学習会に参加し知識を習得する。
2	各地区にて健康教室を開催し、健康に関することの普及啓発を行う。
3	
4	

区 分			単 位	実績値		計画値		最終目標年度	
				22年度	23年度	27年度 (見込み)	達成率	27	年度 (見込み)
①	指標名	研修会、学習会の開催回数	回	51	61	61	1.00	6	
	説明	町、各支部が企画する保健補導員の研修会	目標値設定の根拠	実績値					
②	指標名	地区健康教室開催回数	回	18	17	17	1.00	1	
	説明	保健補導員会主催による健康教室	目標値設定の根拠	実績値					

区 分			単 位	実績値		計画値		最終目標年度	
				22年度	23年度	27年度 (見込み)	達成率	27	年度 (見込み)
①	指標名	研修会、学習会参加率	%	47.4	54.9	55	1.00	5	
	説明	会員の参加人数の割合	目標値設定の根拠	実績値					
②	指標名	地区健康教室参加人数	人	404	471	470	1.00	47	
	説明	地区住民の参加人数	目標値設定の根拠	実績値					

															平成22年度 決 算	平成23年度 決 算	平成24年度 見込み
○総事業費(コスト概算) =①+② (千円)															3,845	3,809	3,781
対前年比 %																99.1	99.8
A)その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)																	
B)一般財源(税金)															3,845	3,809	3,781
①事業費 (千円)															1,967	2,062	2,061
対前年比 %																104.8	100.0
②人件費の概算 (千円)															1,878	1,747	1,721
対前年比 %																93	98.9
															年間人件費	年間人件費	年間人件費
															1,878	1,747	1,721
															0	0	

指標化

(6) 項目別評価〔Check〕

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	B	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である B 対象の変更の余地がある → <input type="text"/>
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある → <input type="text"/>
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった → <input type="text"/> D 成果が少なく今後も向上する見込みがない → <input type="text"/>
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	C	A すでに実施している B 今後は可能性がある → <input type="text"/> C 今後も可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	A	A 余地なし B 当面は余地なし C 一部余地あり → <input type="text"/> D かなり余地あり → <input type="text"/>
	8. 受益者負担は適切ですか	B	A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり → <input type="text"/> D かなり検討の余地あり → <input type="text"/>
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している B 日常業務の中で把握している → <input type="text"/> C 把握していない A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください 支部会等で保健補導員より意見や要望を確認している。

(7) 改革改善〔Action〕

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **□を一つチェックしてください。**

☐ ア. 現状のまま継続する

☐ イ. 見直しのうえで継続する

☐ ウ. 終期設定

☐ エ. 廃止

☐ オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ□を一つチェックしてください)

- ☐ a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
- ☐ b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
- ☐ c 効率化を図る(コストを下げる)
- ☐ d 縮小する(簡素化する)
- ☐ e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

地区担当職員が教室開催等の支援をおこなった。

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

保健補導員に依頼している、検診実施の案内の配布の方法を見直す。

24年度予算見積書への反映 ☐ あり ☐ なし

〔反映内容〕

(8) 所屬長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

地域と行政をつなぐパイプ役として、住民の健康づくりに果たす役割は大きい。より充実した活動ができるよう研修の内容を検討しながら、今後も継続して実施。

上位の施策の推進に貢献していますか。□をチェック

- ☐ A. 貢献度 大 ☐ D. 上位施策なし
- ☐ B. 貢献度 中
- ☐ C. 貢献度 小

(今後の方向性 □を一つチェックしてください。)

☐ ア. 現状維持

☐ イ. 見直しのうえで継続する

☐ ウ. 終期設定

☐ エ. 廃止

☐ オ. 休止



☐ 上記 a～e を選択